

欠かさずブログを書いてきたことで “理想郷”ができました



▶ Profile

いしはら しょういち 1975年兵庫県生まれ。建設会社、システム開発会社等勤務を経て、2006年10月、システム開発、ネットワーク事業を手がける株式会社涯を設立し、社長に就任。同社は年商1億2000万円（今期見込み）、従業員12名、所在地・東京都新宿区。

<http://www.xgai.jp/>

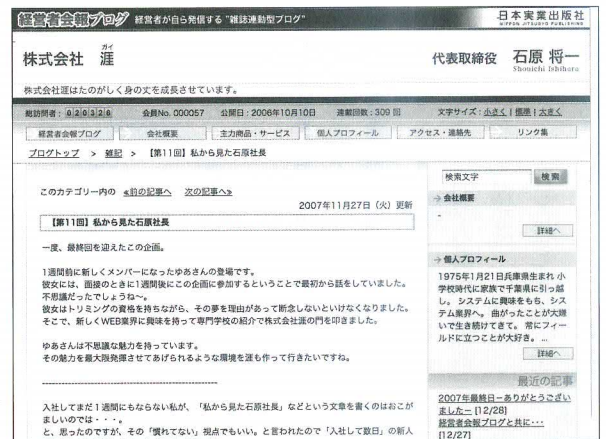
(株)涯

社長 石原 将一

私は望んで社長になったわけではありません。周囲の方々に背中を押してもらわなかったら、会社を起こそうなんて考えなかった。二十歳の頃にシステム開発の世界に飛び込んで、私なりに努力を重ね、開発力にも提案力にも自信がもてるようになりましたが、曲がったことが大嫌いな性格が災いして、勤め先の社長と衝突したこともありました。ある先輩経営者の方に「理想郷を求めらるなら自分でつくるしかない」と言われて、一昨年の秋、起業を決意したというわけです。

ほぼ同時期、その方の紹介でお会いした久米繊維工業の久米社長に勧められて始めたのが、経営者会報ブログでした。以来、出社した日は毎日書いています。

もしもブログを始めていなかったら、いまの当社は存在していません。始めたときは社員はゼロ、私一人の会社でした。それがいまは一二名。自分で言うのもなんですが、私のブログを見て、私に惚れて入ってきてくれた人間ばかりなんです。ブログがみんなとの出会いをつくってくれた。いまの若い人たちはネットワーという「パソコンがあつてし



↑石原社長のブログ <http://xgai.keikai.topblog.jp/>

をしたと思います。面接を受けに来てください」と言いました。入社してくれたのだから、そう思ってたんでしょ。一年も続けてきてアーカイブが蓄積すると、私という人間をわかかってもらえるだけのツールに充分なっている。公私ともに、現在の私の表現のすべてだと思っています。

とはいえ、半年前までは、毎日書くのが苦痛で仕方なかった。でもふと考えたら、やる気のある若い社員が揃うこの環境をつくってくれたのは、ブログだったんです。そうと気づいてからは、凄く大事に思っていますし、書くのが楽しくて仕方ありません。

いまいるメンバーは、私のブログがアップされていなかったり、暗いことを書いていたりすると、すぐ「何かあったんですか」と言ってくる。だからみんなで書いていくという感覚もあります。風通しのよい、変な上下関係のない、それでいてみんな挫けず頑張る体育会系の会社。ブログを続けるうちに、私にとつての「理想郷」ができました。

▶ブログが自分の表現のすべて

少し前に入社した女性から応募があつたとき、「私の過去のブログを読んで、この男と一緒に仕事を

少し前に入社した女性から応募があつたとき、「私の過去のブログを読んで、この男と一緒に仕事を

